

2色多彩KEPT施工要領書

2色多彩KEPTとは……

アスロック版やPC版の凸部（タイル面）の仕上りを濃淡の2色に色分けするモザイク調の新しいKEPTです。

I 2色多彩施工の流れ

仕上濃淡2色の見本板作成



仕上濃淡の2色決定



2色の配置図を作成し濃淡の配置を決定する。



色付け②の工程で濃色位置を決める板“当て板”を作成する。



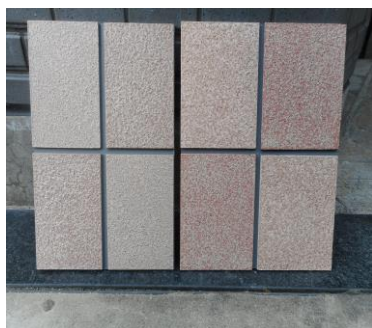
試験施工



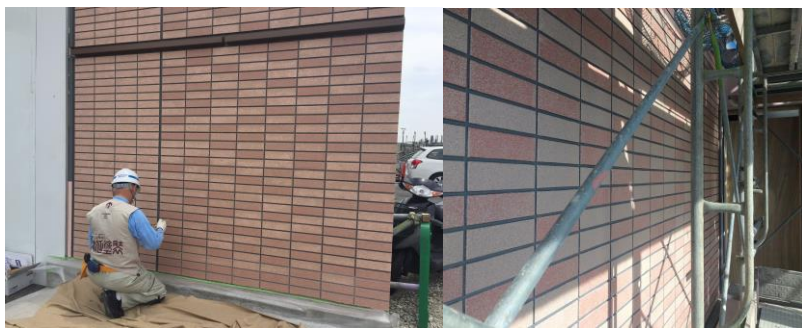
色、濃淡色の配置につき確認する。



本施工



2色見本板



試験施工

本施工

<“当て板”の作成> “当て板”…上塗の際濃色塗装の位置を決めるため

塗装する壁に当て 位置をマークするためのプラベニの板。<写真②>

①モデルとなる実際のタイル貼の外壁の写真を撮る。

モデル写真



②モデル写真を濃色と淡色の2色に分け濃淡色の配置を紙に記入する。 (“濃淡色配置図”) <写真①>

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	1	2	3	4	5			
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15	1	2	3	4	5			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								

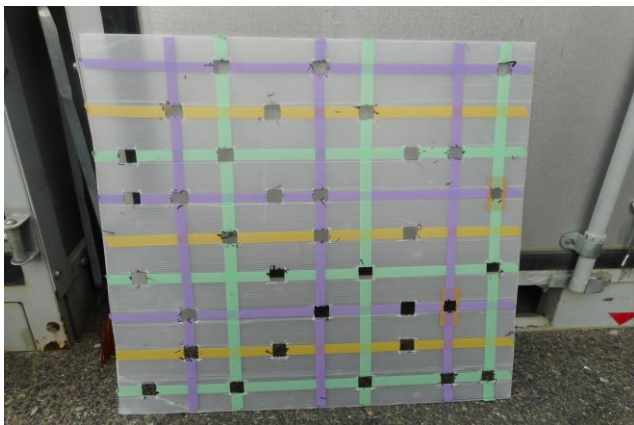
<写真①>
濃淡色配置図

③配置図から実際に塗装するアスロック版やPC版の凸部の大きさに合わせて“当て板”を作る

<“当て板”の作成方法>

- プラベニを使用し作成する。
- 大きさは 手で持ちやすい程度にする。
(写真は90cm×90cm)
- 当て板にタイル幅と同じ幅でマスキングテープを貼る。
- タイル幅1/3程度横に別の色(緑)のマスキングテープを貼る。同色のテープの間隔はタイル幅。
(写真では紫と紫、緑と緑の間隔ががタイルの幅になる。)
- 横向き(水平方向)にはタイルの高さに合わせてマスキングテープを貼る。(テープの間隔がタイルの高さ)
- 紫のテープ上に配置図の濃色部分に従いマークする
- 緑のテープ上に先にマークした配置図とは別の場所の配置図に従いマークをする。
- マークされた部分を カッターナイフでくり抜く。(大きさはタイルより小さくする。)
写真の開口部の大きさは2.5cm×2.5cm

<詳細は講習会にて説明します>



<写真②>

II 施工要領 (塗装間隔や塗布量は塗装仕様書による)

		材料・内容	塗装方法 使用道具	塗回数	注意点
1、	下地清掃	付着物、脆弱な部分はケレン、清掃し取り除く。コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理されているか確認			ピンホールの補修は膜厚のある弾性主材でも隠れないので入念に行う事。(版メーカーに確認)
2、	シーラー塗布	KEPTシーラーW(MRC用) ＜RC、コンクリート下地＞	スプレー	1	
		KEPTシーラーEPO(AP用) ＜アスロック、PC版＞			
3、	弾性主材塗布 (※)	KEPT弾性防水材(RC用) (※)RC,コンクリート時のみ アスロック、PC版の時は不要	スプレー	4	膜厚を充分につける事。
4、	目地色塗布	KEPT目地用下塗	スプレー	1	目地部には充分塗布する事。

*スプレー時は塗料の飛散防止に十分気を付ける。



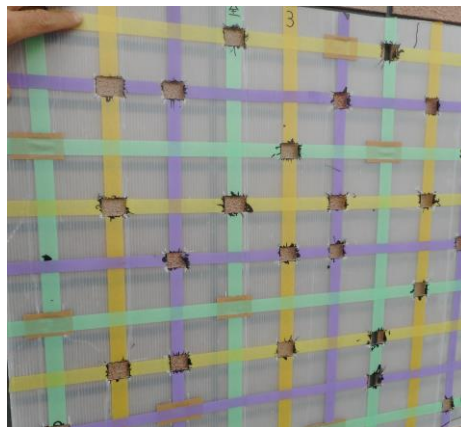
<目地色塗布 スプレー>

5、	タイル調模様部分 色付け① 淡色塗装	KEPT中塗①(淡色塗装) タイル面すべて(目地を除く全て)に塗装	KEPT ロールロー	1	* 目地に入れない様注意して塗る * KEPTローラーは斜めに(タイル目地に対し約45度)ゆっくりと転がし一度に10枚程度(2丁掛けタイルサイズ)の広さの単位で塗装する。 * 塗料は少量ずつ小分けしKEPTローラーに少量を含ませて塗布する。
----	--------------------------	--------------------------------------	---------------	---	--



色付け①

6、	タイル調模様部分 濃色塗装部の 位置決め	当て板を壁に当て 穴の部分をマジックで タイル部表面にマークする。	当て板	* 面全体にマークをし 配置のバ ランスの確認をする。
		※マーキングの方法 ①縦目地に当て板の端面を合わせる ②同じ色のテープの目印を付けていく。(写真の場合は黄色のライン) ③当て板をマークしていない場所にずらし紫のテープ上の穴をマジックで「色付け①」の塗装部にマークする。 ④当て板を次の位置にずらして もう一度黄色テープ状の穴の箇所をマークする。 ⑤順次当て板をずらして塗装面全体にマークを付ける。		



濃色部の位置決め

7、	タイル調模様部分 色付け② 濃色塗装	KEPT中塗②(濃色塗装) 6、でマークされた表面部だけに塗装する。	KEPT ローラー	1	<ul style="list-style-type: none"> * 目地に入れない様注意して塗る。 * KEPTローラーは斜めに(タイル目地に対し約45度)ゆっくりと転がし一度に10枚程度(2丁掛けタイルサイズ)の広さの単位で塗装する。 * 塗料は少量ずつ小分けしKEPTローラーに少量を含ませて塗布する。
8、	濃、淡色の 配置バランス 確認	全体を見て濃淡色の配置のバランスを確認する。			
9、	タイル調模様部 多彩柄材塗布 (目地を除く全ての表面部)	KEPT上塗		1	ローラーの転がし方により濃淡が出易く色ムラが発生するので上塗塗装者は固定する事。



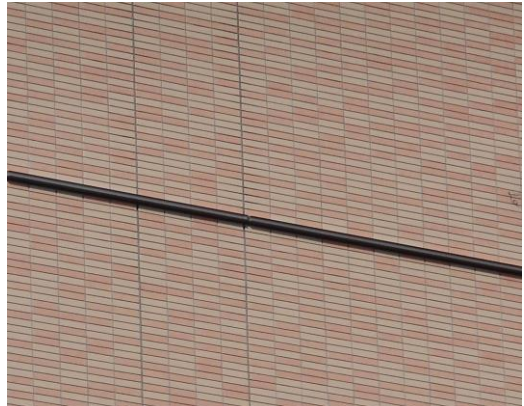
上塗済み

上塗未塗装

10、	目地補修	KEPT目地用下塗	筆	中、上塗が目地に入った個所があれば 筆で目地を補正する。
-----	------	-----------	---	------------------------------



11、



施工完了